

若い世代の「社会参画力」

布瀬めぐみ（大和市議）

初めてづくしの選挙

4月の市議選の投票率は38・4%でした。年々下がりが続いています。特に10代は25・4%、20代は17・2%で、今回、約7割が「投票」という最低限の政治参加すらしなかったという結果です。民主主義の実践には、危機的な状況です。

今回の選挙で、私の周りでは若い母親たちが私を友人知人に紹介したり、公営掲示板にポスターを貼ったり、ビラを配ったりするなど、初め

ての経験をした人が多くいました。その結果、友人の小学生の子どもが、選挙に関心を持つようになったという嬉しい報告を聞いています。

小・中学校での

主権者教育

有権者になった時に、投票という形で社会参画していくために、小・中学生のうちからの主権者教育をもっと推進していくべきではないでしょうか。

大和市では、市制50周年の記念行事として、10年前に「子ども議会」が開催されました。小・中学生が議員役・市長役・教育長役となり、子ども議員たちは大人顔負けの質問や提案を行ったそうです。

アメリカの心理学者ロジャー・

ハートは、「参画のはしご」モデルの中で、子どもが参加する取り組みにおいて、「とりあえずの取り組み」や「形だけの参加」では意味がないと言っています。

八王子市は、「子ども議会」や「子ども意見発表会」などを通して、子どもが意見表明し、まちづくりへ参画していく仕組みを創出しています。子どもたちの意見に向き合い、その意見をまちづくりに取り入れる仕組みを作ることで、子どもたちの社会参画を推進しています。社会の事柄を他人事ではなく、自分事としてとらえ、考える力を育てていくこと、これが将来、投票という意思表示へ繋がっていくのではないのでしょうか。

子どもの社会参画

学校教育のあらゆる場面において、「社会参画力」を意識しながら指



導をすべきです。また、主権者教育を行うためには、学校・家庭・地域の連携も重要です。家庭・地域も主権者教育の担い手であるという認識を学校側も持つよう要望しました。そして、市政60周年の今年開催さ

通学路の安全と歩きやすい歩道

くにかね久子（大和市議）

危ない通学路

私が見守りボランティアをしている通学路には、広い道路と抜け道が交差する変則的な五叉路があります。子どもたちは細心の注意をしながら横断します。地域からは信号設置の要望が何度か出ています。保護者からは、登校時間と出勤時間が重なる時間帯に車がスピードを出して通行するため、対策を求める声があります。

ゾーン30の活用を

「ゾーン30」は、人や自転車、車も通行する生活道路で安全な通行を確保するため、最高速度30キロの区域規制を実施するものです。大和市は10区域が指定されており、指定ゾーンの効果をより高めるため、東海大学との実証実験が始まります。

効果を上げるためには、子どもや保護者、高齢者、障がい者等の視点が大切です。ぜひ参加できるように配慮し、丁寧な点検を実施するよう要望しました。

街路樹の老木化対策

本市の街路樹は、経年により倒木リスクが高くなっているものがあり



▲根止り材を敷く歩道

ます。桜ヶ丘駅西口からの桜並木もそうです。以前の樹木医による点検で、倒木の危険があると伐採された桜の切り株は、やはり内部で腐食が進んでいました。街路樹の根上りにより、歩道内に

段差が生じたり狭くなったりして、高齢者やベビーカーが通行しづらい箇所もあります。植栽基盤の改良や植栽間隔の拡大など、景観に合った街路樹の再整備を地域の合意を得ながら行うべきです。必要に応じて樹種転換するなど街路樹再整備計画を策定すべきと提案しました。

市は、調査を行い、地域の方々の意見等を踏まえて、樹種変更を含めた歩道の改修計画の策定を検討すると答弁しました。期待したいと思いません。

◇6月議会では、他にも「障がい等により就労困難な人の支援」について質問しました。

◆くにかね久子の一般質問はホームページでご覧になれます。こちらのQRコードからお入りください。



議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。お気軽にご参加ください。(直接会場にお越し下さい)

8/10 (土)	10:00~12:00	柳橋 飯塚 ☎267-4591
8/26 (月)	10:00~12:00	桜ヶ丘学習センター 104会議室
8/27 (火)	10:00~12:00	中央5丁目 伊達 ☎263-2117
8/29 (木)	9:30~10:30	ポラリス
8/31 (土)	14:00~15:00	緑野コミセン
9/11 (水)	10:00~12:00	中央林間6丁目 北島 ☎275-1404
9/30 (月)	13:30~15:30	つきみ野学習センター 303会議室

おしゃべりサロン
(議会報告会)の
お知らせ

れる「子ども議会」において、市長・教育長が、子ども達の率直な提案に答弁し、実りある子ども議会となつてほしいです。今回あまり前向きな答弁をもらえませんでした。子ども議会が周年行事ではなく、毎年または隔年ごとに開催されるよう、引き続き提案していきます。

◇6月議会では、他にも「引地川の環境保全」について質問しました。

◆布瀬めぐみの一般質問はホームページでもご覧になれます。こちらのQRコードからお入りください。



次号
まちづくりレポート
10月発行